

2010年度

科目名	スポーツ運動学			
担当教員	安田 正純			
配当	文 2・教育2・人間2	コード	14640	
開期	前期	講時	月曜日4限	単位数 2
授業テーマ	人間の有機体の運動系の諸機能がどのようにして成り立ち、その法則的な発展過程が如何なるものかについて			
目的と概要	スポーツ運動学は教育的視点を多く含み、スポーツを指導する指導者が内存する法則性と一致させながら、運動発達の過程に対して積極的に働きかけていけるようにするための基礎的認識を提供するものである。スポーツの運動理論がスポーツ運動の本質、その発達、現象形態、因果関係や条件、発生的関係について諸認識を統合し、実戦的教育活動に効果的に利用されることを意味している。本授業では前述したスポーツ運動場面での促進と、より高いレベルへの引き上げに必要とするスポーツ運動学の原理・原則の知識を習得する。			
成績評価法	受講態度30%、筆記試験70%、による総合評価			
テキスト	配布プリント			
参考書	スポーツ運動学序説====朝岡 正雄著 マイネル スポーツ運動学====クルトマイネル著			
履修に当たっての注意・助言	私語・迷惑行為断禁、講義内容の事前・事後学習を望む			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ運動学の成立と展開 2. スポーツ運動研究の時代背景 3. 19世紀・20世紀における運動問題と課題 4. スポーツ運動学の対象領域 5. スポーツ運動過程における本質的カテゴリー I (運動の局面構造、運動リズム、運動伝道、流動) 6. スポーツ運動過程における本質的カテゴリー II (運動の弾性、運動の先取り、運動の正確さ、調和) 7. 運動系における学習概念 8. スポーツ達成力の構造 9. 体力・技術トレーニングにおける問題点と今日の問題点 10. 運動指導をめぐる諸問題 11. 運動学習の教育的価値 12. 運動学習の特性・運動学習位相の展開 13. 運動指導の前提条件 14. スポーツ運動学の現状と課題 15. 総括 				